

## ●中国の1～3月の三酸化アンチモン生産

2019年3月の三酸化アンチモン生産量は、対前月比50.7%増、対前年同月比9.9%増の7,952tで、2019年1～3月の三酸化アンチモン生産量は対前年同期比14.7%増の21,110tである。

2019年1～3月の三酸化アンチモン生産量上位5位の省区は以下の通りである。湖南省(総生産量の64.1%を占め、1万3,533t)、広西省(総生産の18.9%を占め3,992t)、広東省(総生産の9.9%を占め2,083t)、雲南省(総生産の4.4%を占め932t)、貴州省(総生産の2.7%を占め570t)の順となっている。

---

## <LIB>

### 中国・廈門タングステン業新エネルギー社、年間生産能力2万トンの正極材料工場を建設へ

JOGMECによると、安泰科によれば、廈門タングステン業社傘下の子会社である廈門厦タングステン新エネルギー材料有限公司は、184,793.40万円を投入し、廈門海滄区で年間生産能力2万トンの自動車エンジン用リチウムイオン電池の正極材料工場を建設する予定と安泰科が伝えた。

工場の敷地面積は、おおよそ204,049.8m<sup>2</sup>である。建設期間は約3年間を設定し、2021年までに建設完了する予定。2期に分けて建設し、第1期の建設規模は1万トン/年を設定し、2020年12月に生産開始する。第2期の建設規模は1万トン/年を設定し、2021年12月に生産開始する予定。

---

## <表彰> 平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰、岡部徹東大教授、JX金属大井滋社長らが科学技術賞を受賞

平成31年度の文部科学大臣表彰科学技術賞のうちの理解増進部門で、非鉄金属資源循環分野の重要性や将来性の理解増進と普及啓発が評価され、東京大学生産技術研究所・岡部徹教授、東京大学生産技術研究所・中村崇特任教授、早稲田大学理工学院・所千晴教授、京都先端科学大学・前田正史学長、JX金属・大井滋代表取締役社長らが受賞した。

---

## <決算> ソニー、2020年3月期営業利益9%減予想、高い利益水準は維持

ソニーは、2020年3月期の営業利益は前年比9.4%減の8100億円を予想していると発表した。前年度にEMIの連結子会社化による再評価益を計上した反動に加え、次世代ゲーム機の開発費などが収益を圧迫する見通し。2019年3月期の売上は前年比1.4%増の8兆6656億円、営業利益は同21.7%増の8942億円だった。中期経営計画で掲げていたエレクトロニクス事業とエンタテインメント事業の2020年度の営業利益目標を取り下げることが発表された。

---

## <決算> 韓サムスン第1・四半期決算、営業利益が前年同期比60%減少

サムスン電子が発表した第1・四半期決算は、営業利益が前年同期比60%減少した。メモリーチップとスマートフォンの販売が上向くとして下期には業績が改善するとの見通しを示した。また、短期的には第2・四半期もメモリーチップ価格がさらに下落する厳しい状況が続くことが予想されるなどと警告した。